

# 豊肥保健所(竹田市・豊後大野市)感染症情報



令和6年第46週 (11月11日～11月17日)

## 小児のマイコプラズマ肺炎が大分市内で拡大中です

大分県が独自で行っている小児科定点でのマイコプラズマ肺炎の大分県全体の報告数が増加しております(1定点あたり13.00)。特に、大分市では30.82と非常に高い値を示しています。

マイコプラズマ肺炎は、「マイコプラズマ・ニューモニエ」という病原体に感染することで引き起こされる感染症です。子どもに多い病気でしたが、最近では大人がかかることも珍しくありません。感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づく感染症発生動向調査によると、全国の基幹定点医療機関当たりの週毎の報告数が、現行の調査手法となった平成11年以降最も多い状況となっています。マイコプラズマは、症状が治まった後もしばらく病原体は体内に残っている可能性があります。登校や通勤の際はマスクを着用し、他人への感染を防ぎましょう。また、咳が収まるまで激しい運動は控えましょう。有効なワクチンはありません。手洗い、うがいなどの一般的な予防対策の励行と、患者との濃厚な接触を極力避けることが重要です。

## 国内で麻しん(はしか)が発生しています。(大分県での発生はありません。)

麻しんウイルスは感染力が非常に強く、空気感染等により、簡単に人から人へ感染します。麻しんの免疫が不十分な人が感染すると、高い確率で発症します。平成19・20年に10～20代を中心に大きな流行がみられましたが、ワクチン接種を受ける機会を大幅に増やしたことで、患者数は激減しました。平成22年11月以降のウイルス分離・検出状況については、海外由来型のみ認めており、平成19・20年に国内で大流行の原因となった在来型は認めておりません。平成27年3月27日、世界保健機関西太平洋地域事務局により、日本が麻しんの排除状態にあることが認定されました。

しかし、現在、海外における流行が報告されており、国内においても報告数が増加していることから、今後、更に感染事例が増加することが懸念されます。

(2024年 11月13日現在 全国:39人 大分県:0人)

麻しん流行地から帰省したり、麻しん患者と接触したりした後、発疹、発熱などの麻しんを疑う症状がある場合は、かかりつけ医または医療機関に電話等で伝え、受診の可否や注意点を確認してから、指示に従ってください。また、感染を拡大させないため、受診の際は公共交通機関の利用を避けてください。

麻しんの予防方法は、ワクチン接種をすることです。麻しん風しん混合ワクチン(MRワクチン)は、「定期接種」として予防接種法で定められています。お子さんが対象者であるかどうか、今一度ご確認ください。対象者は、できるだけ早めに受けるようにしましょう。また、定期接種以降でも、麻しんにかかったことがなく、ワクチンを1回も受けたことのない方は、かかりつけの医師にご相談ください。

### (第46週)

疾患名 年齢	インフルエンザ	新型コロナウイルス感染症	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱 (プール熱)	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘 (みずぼうそう)	手足口病	伝染性紅斑 (リンゴ病)	突発性発疹	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	マイコプラズマ肺炎 (小児科県独自)	麻しん (全数報告)	風しん (全数報告)	百日咳 (全数報告)	つつが虫病 (全数報告)
0歳		0.20															
1～3歳								0.67									
4～6歳					0.33			0.33					0.33				
7～9歳					0.67												
10～14歳					0.33	0.33							0.33				
15～19歳		0.20															
20歳以上	0.40	1.40				0.67											
今週	0.40	1.80		1.33	1.00			1.00					0.67				
70歳以上 (再掲)		0.40															
先週		0.80				0.33		0.67					0.67				

\*指定された医療機関(定点)から報告された患者数を、1定点あたりに換算して計上しています。(定点医療機関数; インフルエンザ5定点 小児科3定点)

### 疾患ごとの警報・注意報の基準値

※単位は定点あたり報告数

疾患名	流行発生警報		流行発生注意報
	開始基準値	終息基準値	基準値
インフルエンザ	30	10	10
咽頭結膜熱	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-
感染性胃腸炎	20	12	-
水痘	2	1	1
手足口病	5	2	-
伝染性紅斑	2	1	-
ヘルパンギーナ	6	2	-
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	-
流行性角結膜炎	8	4	-

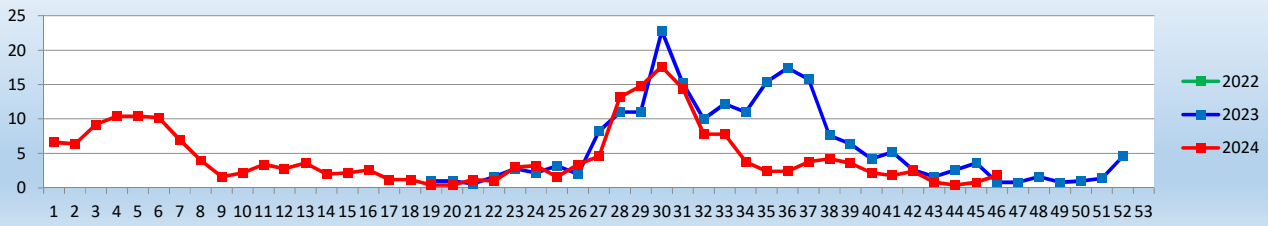
★R5.8月1日より大分県は新型コロナウイルスの流行状況を、季節性インフルエンザの警報・注意報を準用してお伝えします。

疾患名	警報レベル	注意報レベル	注意報レベル
新型コロナウイルス	30以上	20以上30未満	10以上20未満

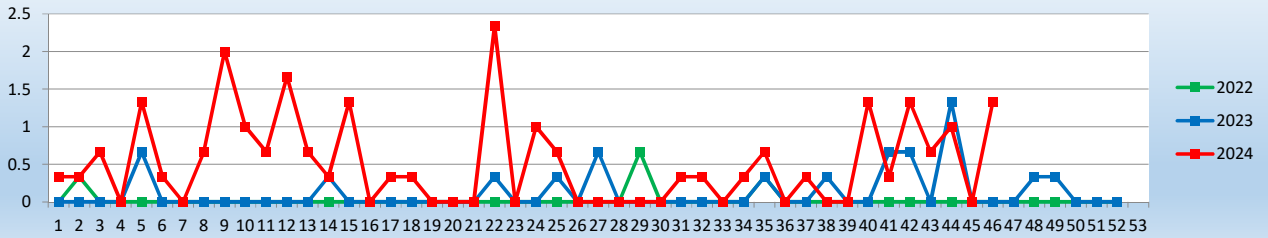
※警報レベルは大きな流行が発生または継続していると疑われることを指します。注意報レベルは、流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性が高いことを、流行の発生後であれば流行が継続していると疑われることを指します。

# 豊肥管内 過去3年間の発生動向

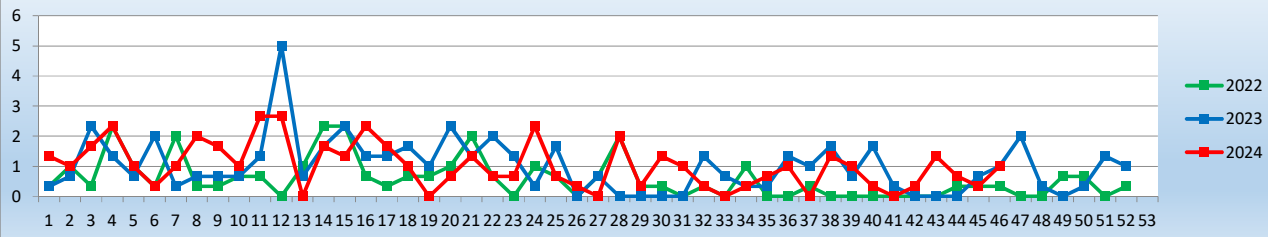
## 定点当たり報告数 新型コロナウイルス感染症



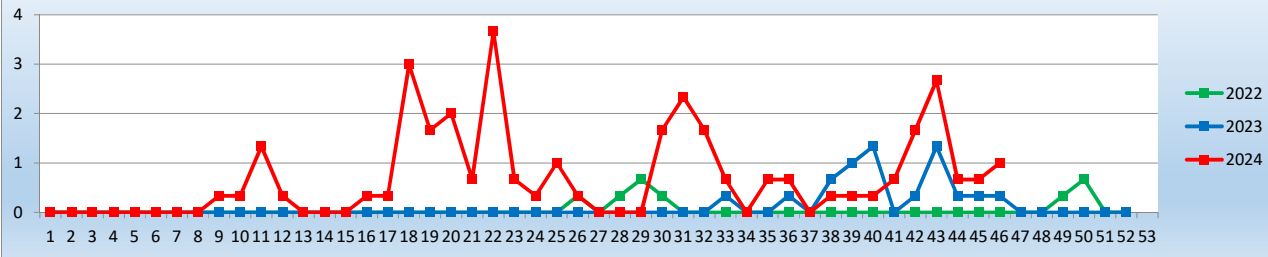
## 定点当たり報告数 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



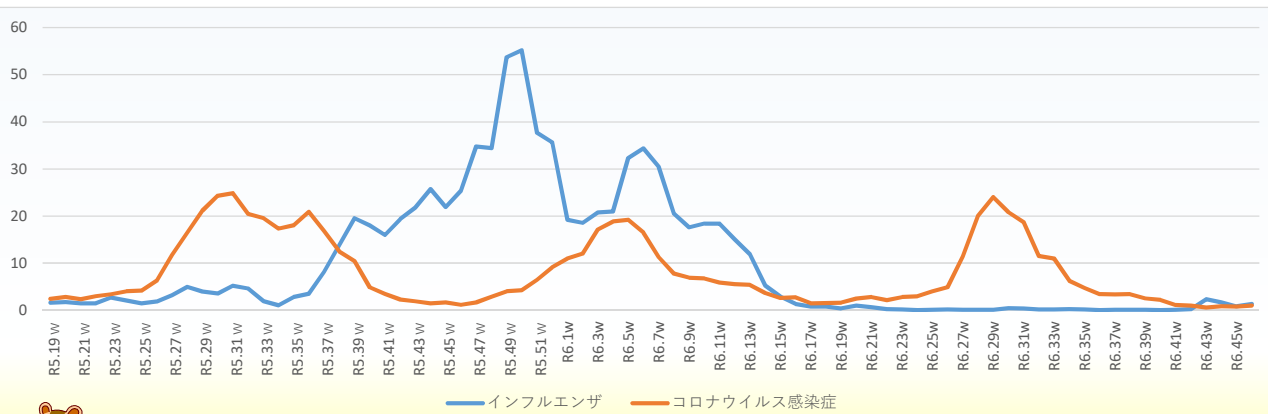
## 定点当たり報告数 感染性胃腸炎



## 定点当たり報告数 手足口病



## インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症大分県の推移



お問い合わせ：大分県豊肥保健所 電話（0974）22-0162